

鳥倉庫に配属が決まりました。
入社当時は70の商品の梱包資材の保管、出庫業務を行っていました。

入社して3年目になります。もともと十年程前に、今の上司である河田さんとは中小企業大学校(以下、中企大)で同期で、ゼミも一緒でした。そこでウインローダーを知りました。自分の会社を含めて、中企大に社長が来た会社はなかったので、高嶋社長だけは来ていて、そのインパクトが強く残っていたんですね。前職では二十八年間、半導体関連の仕事をしていました。全く違う業界に行きたかったのと、当時は西多摩支店が自宅から近かったため、西多摩のドライバー希望で面接を受けたのが入社のきっかけです。ドライバー希望でしたが、経歴として管理業務をしていたこともあり、昭島倉庫に配属が決まりました。



人生ではじめての東北へ！



10月に、同じ部署の河田さん、水野さんと東北へ行ってきました。人生ではじめての東北でしたが、震災ツアーも兼ねていたので、楽しいだけでなく、グッとくるものがありました。さらに、ウインローダーが当時関わっていたという話も交えながら、現地で実際に関わった方々とも話せたので、そうした機会があつてとても良かったです。



コロナ禍だったからできたこと！

時間があつたからこそ、資格の勉強に集中できました。運行管理者試験を取ることができましたし、今は危険物の試験に向けて勉強を始めたところです。もともと休みはそこまで外に出ることもなかったのですが、コロナのおかげでより自宅に集中できました。

入社経緯と現在の仕事内容は？

藤田勝則

の見える世界

2022年4月1日

昭島 倉庫課

今回は、倉庫で活躍してくれている藤田さんにインタビューしました！

今年春からは、大手企業様との契約も進み、某倉庫様のタイヤ保管業務が始まりました。当初は慣れない業務で混乱したりすることもありました。加治さん、高野さん、室岡さんの協力をいただきながら春を乗り越えられました。実績も評価され、多摩エリアの約三千三百セットの移管、保管をお任せいただきました。冬が始まり十一月中旬からタイヤの入出庫のピークを迎えます。物流全体で協力しながらお客様に喜んでいただける仕事をしていこうと思っています。そして、多摩エリアその他店舗の一万二千セットも安心してお任せいただけるように全力を尽くして頑張ります。

仕事のやりがい

日々、タイヤの出庫準備と、ドライバーの皆さんが回収してきたタイヤの入庫作業をしています。毎日、お客様のシステムにアクセスして、その日の出庫数の予定を確認し、タイヤを取り出してパレットに載せ、店舗ごとにまとめるんですね。それがセンターから出て行って、また新たにタイヤを回収してくる。それらが問題なく予定通り進んでいると「ヨシ！」と思いますね。

タイヤだけじゃない！

今の仕事の魅力

昭島倉庫はタイヤの業務だけと思われがちですが、管理的な業務も多いんです。伝票作成や電話対応、お客様とのメールのやりとりも頻繁です。お客様が来社されての打ち合わせもあります。一日の半分は事務業務が多いです。その点は、今までの自分の職歴が活かされていますし、メリハリをもって業務に臨んでいます。

繁盛期には夢にタイヤがでできます(笑)

